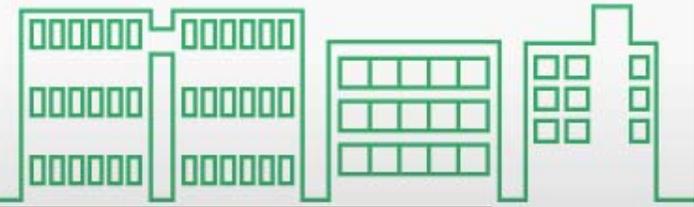


名古屋市における アセットマネジメント(公共施設マネジメント) の取り組みについて



総合計画2018における アセットマネジメントの位置付け



本市を取り巻く潮流

- ・ 少子化・高齢化
- ・ 災害に対する不安の高まり
- ・ リニア中央新幹線の開業
- ・ 価値観・ライフスタイルの多様化
- ・ グローバル化の進展
- ・ 環境問題の多様化
- ・ **公共施設の老朽化**
- ・ 行政課題の広域化・多様化

めざす都市の姿

めざす4つの都市像

- ・ 人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち
- ・ 災害に強く安全に暮らせるまち
- ・ 快適な都市環境と自然が調和するまち
- ・ 魅力と活力にあふれるまち

将来の都市構造

- ・ 集約連携型都市構造(駅を中心とした歩いて暮らせる圏域(駅そば生活圏)における都市機能のさらなる強化と居住機能の充実)の実現 など

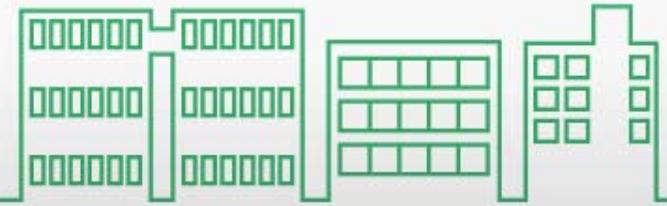
「めざす4つの都市像」を実現するための市政運営の取り組み

(1) 市民主体の市政運営

- ・ 市民目線に立った行政
- ・ 多様な主体と行政の連携
- ・ 地域に密着した行政
- ・ 市政運営を担う職員の育成

(2) 将来を見据えた市政運営

- ・ 行政改革の取り組み
- ・ 今後の財政運営
- ・ **アセットマネジメントの推進**



平成18年度 「第3次行財政改革計画」及び「新財政健全化計画」
にアセットマネジメント導入の必要性を位置付け

平成20年度 「名古屋市アセットマネジメント基本方針」の策定

平成23年度 「名古屋市アセットマネジメント推進プラン」の策定

平成25年度 「名古屋市公共施設白書」の作成

※ アセットマネジメントとは

建築物、道路、橋梁などの公共施設を資産(アセット)としてとらえ、財政的制約のもとで安全性・利便性・快適性等を確保し、資産全体の効用を最大化するための総合的かつ戦略的なマネジメント手法のこと。



Q

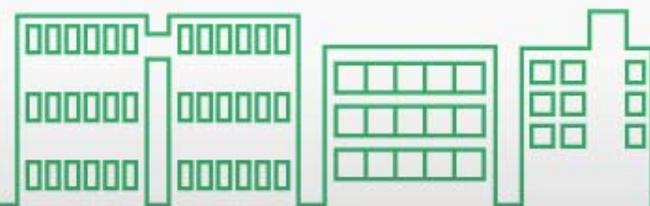
名古屋市の公共施設ってどのくらいあるか
知ってる？

A

なんと！約2700施設！！
延床面積で約1000万m²
にもなるんだなも。
(ナゴヤドーム 約200個分)



公共施設の構成比



管理戸数
約 6万3,000戸

市営住宅等
48.2%
(約482万㎡)

一般施設
25.1%
(約251万㎡)

学 校
26.7%
(約267万㎡)

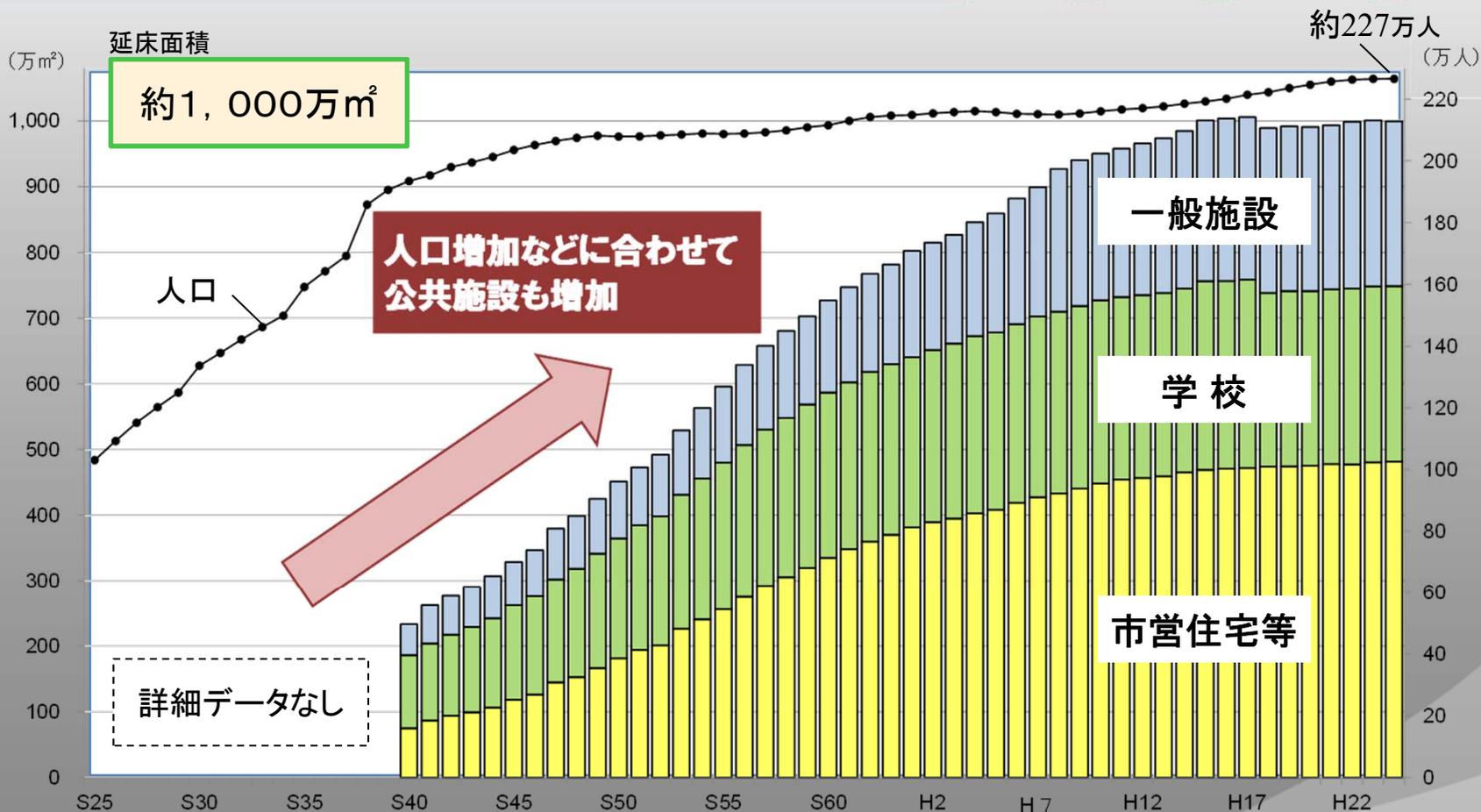
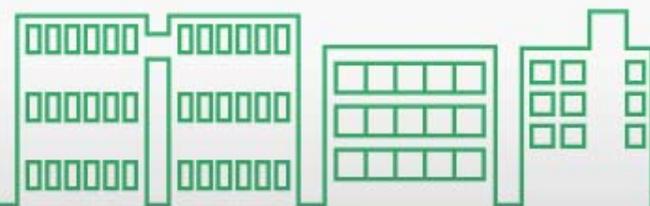
コミュニティセンター
生涯学習センター
地区会館
文化小劇場
図書館
博物館・美術館
スポーツセンター
市役所・区役所

など

小学校 263校
中学校 110校
など

平成24年度末時点

公共施設と人口推移



- ✓ 戦後の急激な人口増加や高度経済成長に伴う社会的ニーズなどに対応するため、昭和40年代から60年代を中心に多くの公共施設を整備してきた。



Q

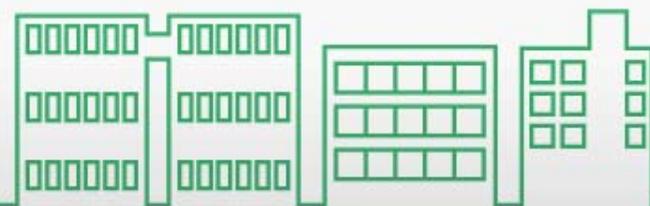
学校や図書館などの公共施設って
どのくらい古いの？

A

およそ10年後には、半分以上
の公共施設が老朽化(築40年
以上)してしまうんだなも！！



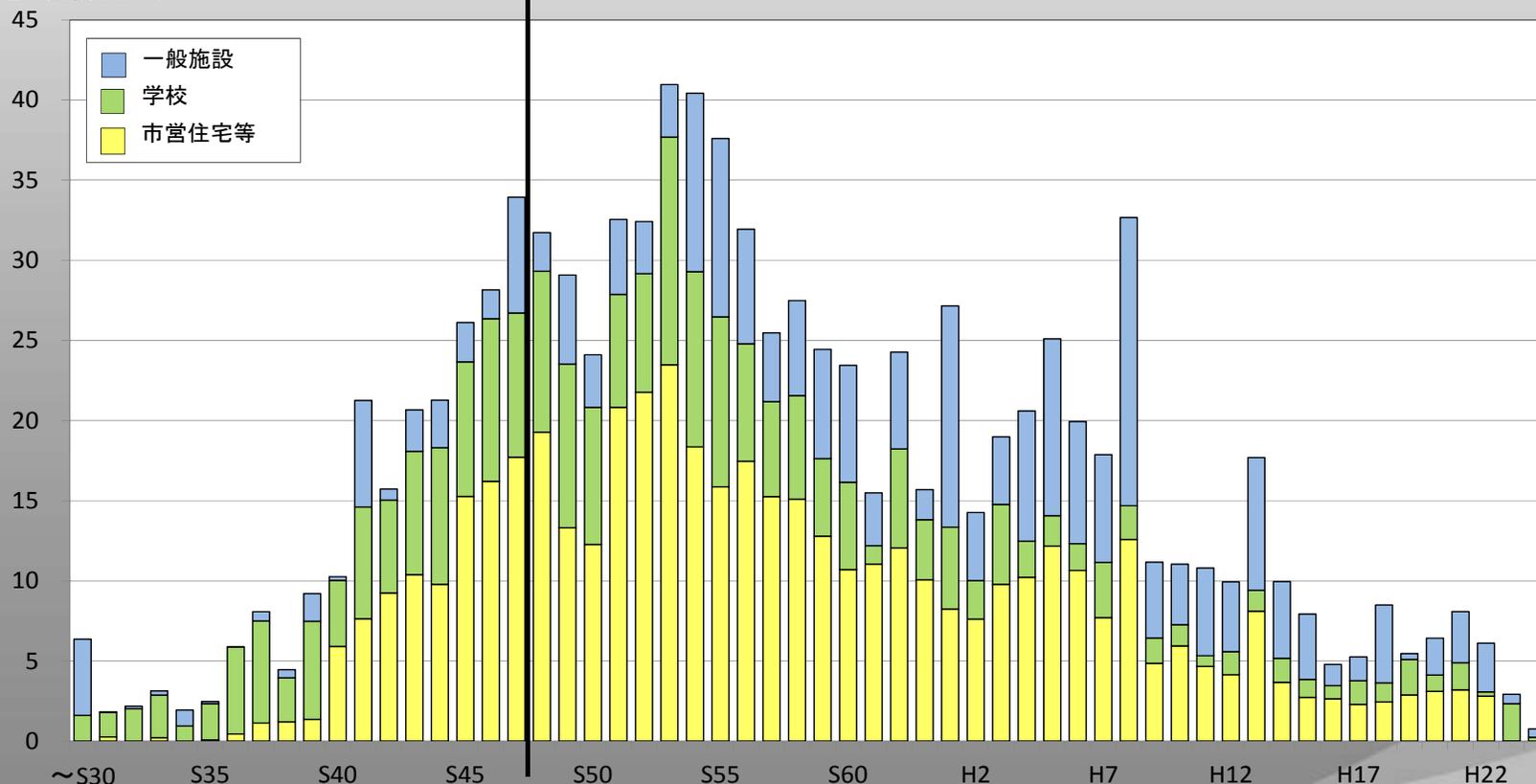
建設年度別でみる延床面積



築40年以上約223万㎡ (23%)

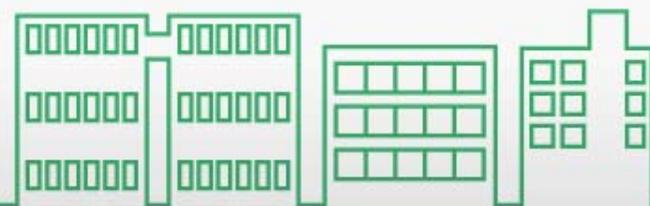
築40年未満 約761万㎡ (77%)

延床面積(万㎡)

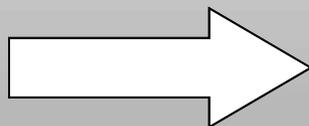
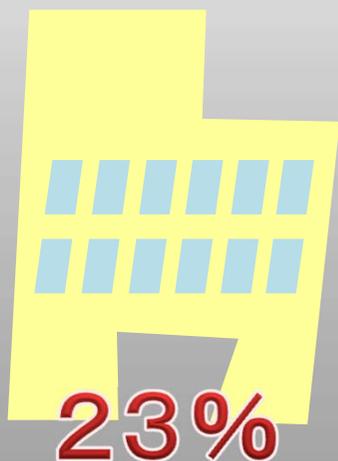


✓ 平成24年度末時点において築40年以上経過している施設の割合は全体の1/4(23%)。

築40年以上の公共施設の割合



<平成24年度末時点>



<10年後(平成34年度末見込)>



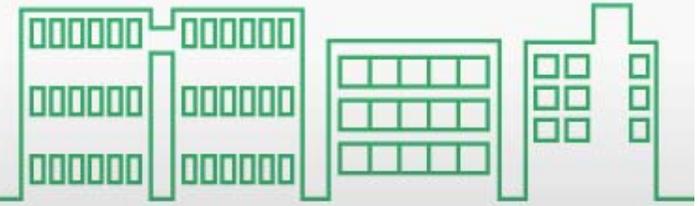
築40年以上の施設は
10年で倍増



改修のための費用の増加が
このままでは避けられない

✓ このままの状態が続けば10年後には半分(56%)を超え、老朽化が一挙に進む。

アセットマネジメント 推進プランの概要



平成24～33年度の10年間の維持管理・更新に関する基本的な事項を
取りまとめた基本計画

<取り組みの3本柱>

区分	主な内容
経費の抑制と平準化	(1) 長寿命化の推進 構造体の耐用年数まで使用 (2) 応急保全の実施 施設の安全性等に配慮した保全
施設の集約化	(1) 集約化による類似・重複機能の統合 (2) 集約化による土地の高度利用 (3) 施設規模に対する敷地バランスの見直しによる 余剰地の創出
保有資産の有効活用と 財源確保	(1) 既存施設の活用 (2) 土地の取得の抑制と売却等の推進 (3) その他(ネーミングライツ、壁面広告など財源確保)



Q

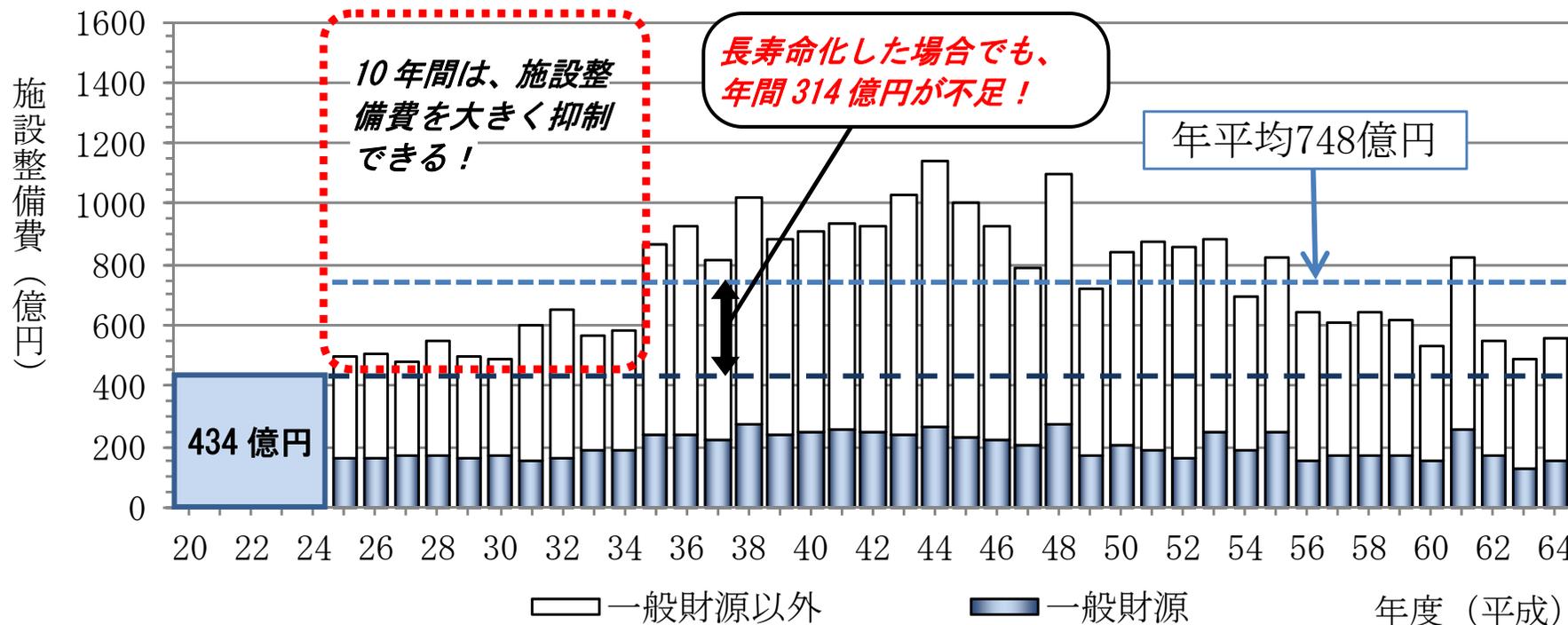
長寿命化に取り組んでいるということだけど、今後の維持更新にかかる費用ってどのくらいなの？

A

なんと！年平均748億円！！
施設の長寿命化などの取り組みを進めているが、施設整備費は近年の1.7倍にもなるんだなも！

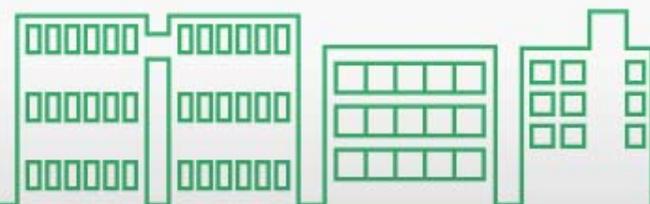


長寿命化した場合の施設整備費



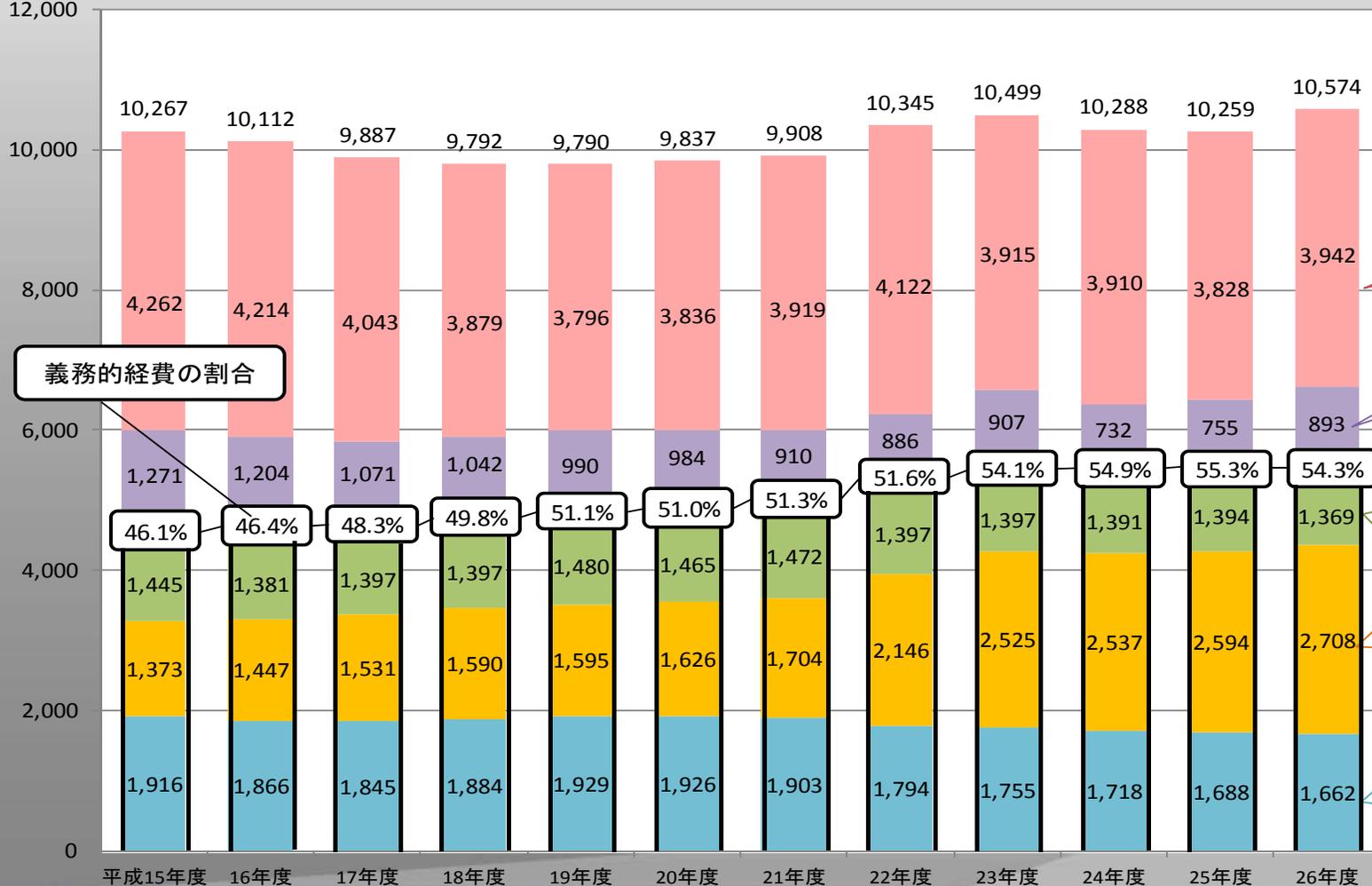
- ✓ 将来の施設整備費を試算すると、長寿命化などの取り組みを進めても平成30年代の半ば以降急激に増加し、今後40年間で約2兆9,900億円、年平均748億円が必要と試算される。
- ✓ 近年の整備費434億円(5年間の実績値平均)と比較して約1.7倍となり、314億円の不足となる見込み。

財政状況



《歳出予算に占める義務的経費の推移》

(億円)
12,000



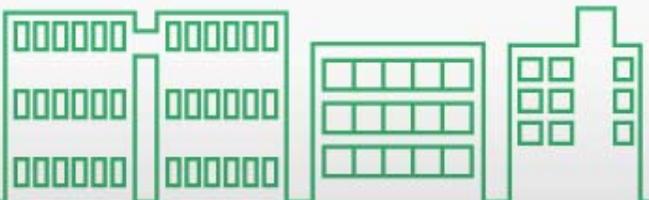
その他(国民健康保険や介護保険をはじめとした他会計への支出金など)

投資的経費(施設の整備費)

公債費(市債の返済)は、年度間の増減があるものの、市債の適正管理に努めています。

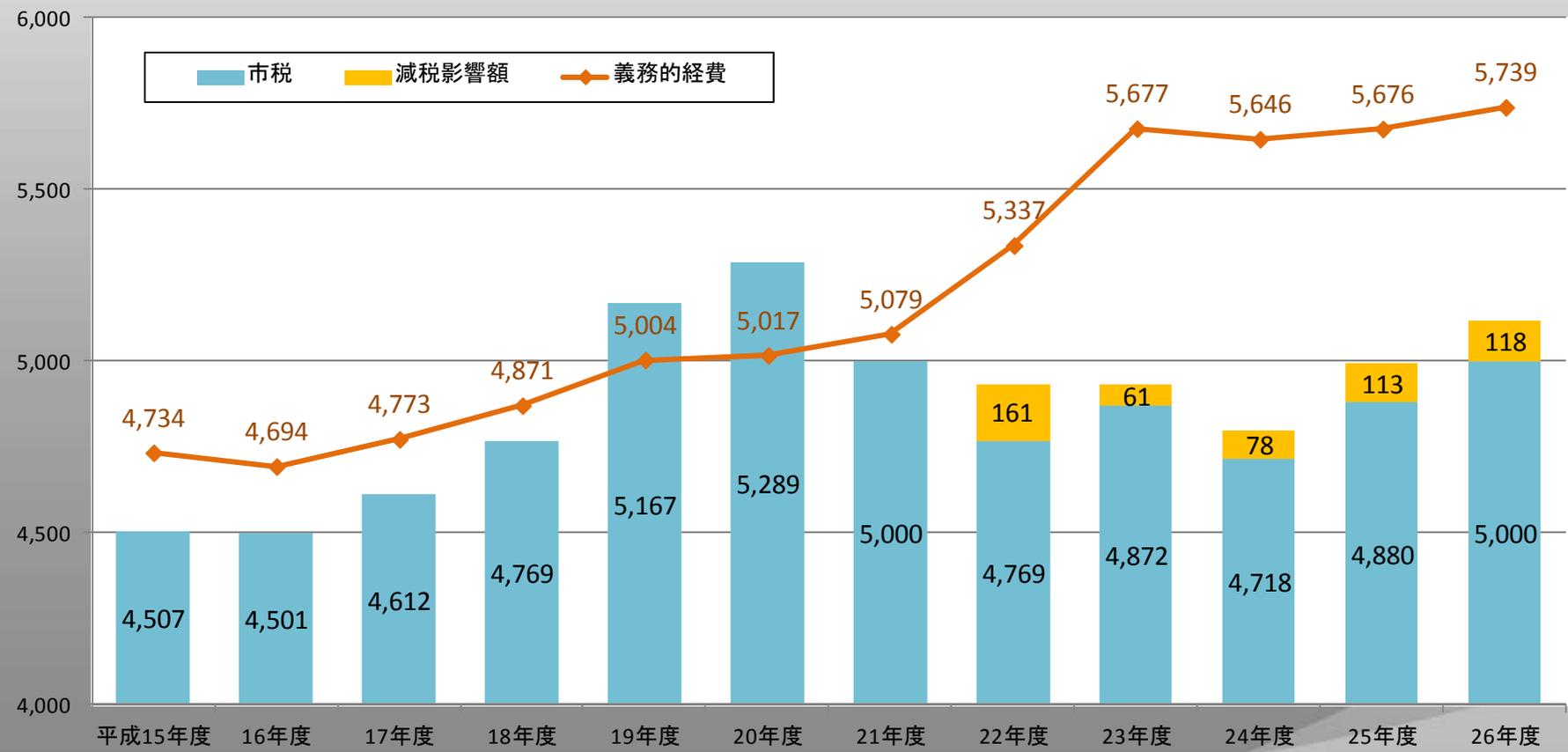
扶助費(福祉、医療など)は、生活保護費、障害者自立支援費等の増加により大きく増えています。

人件費(職員の給与)は、計画的な定員削減などにより近年減少しています。

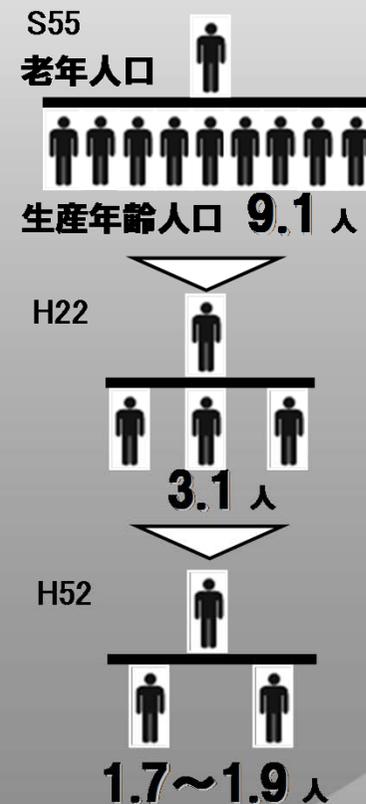
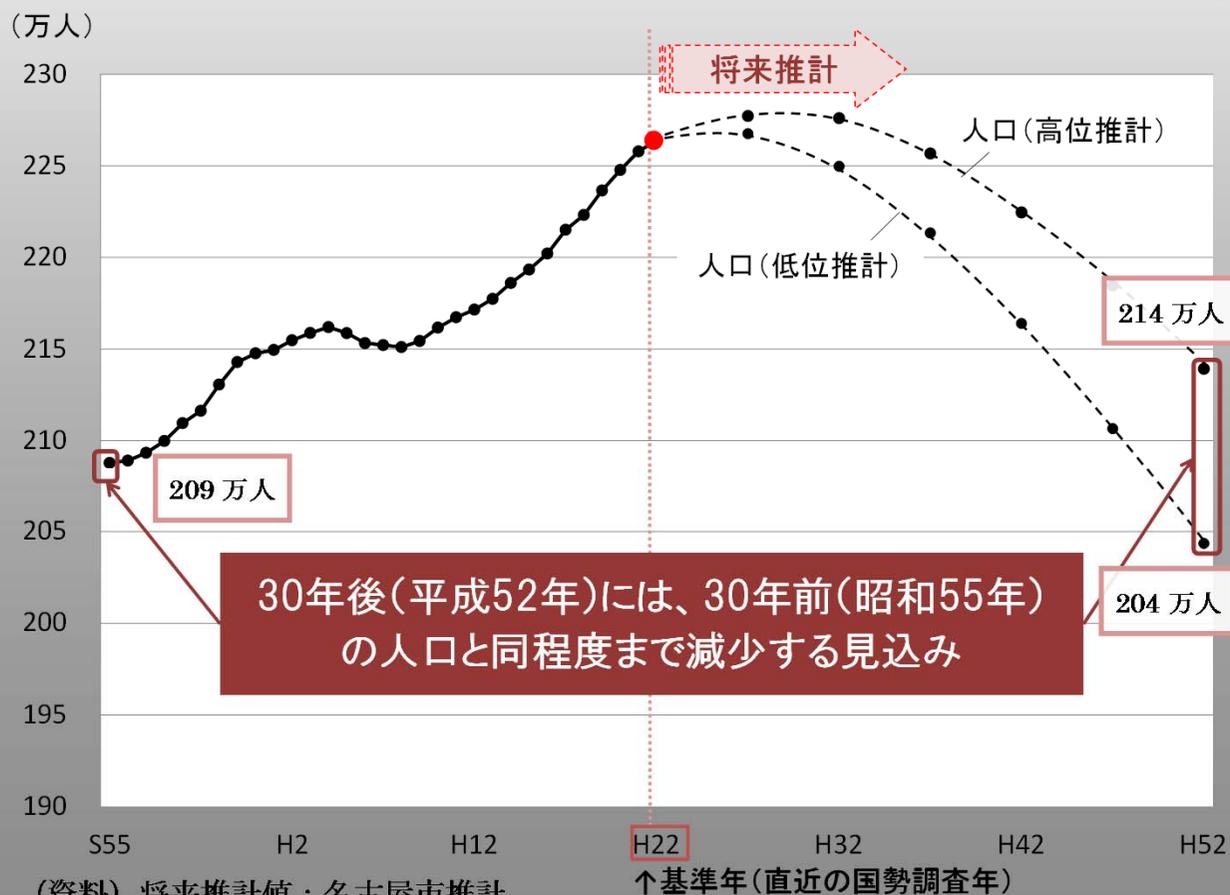
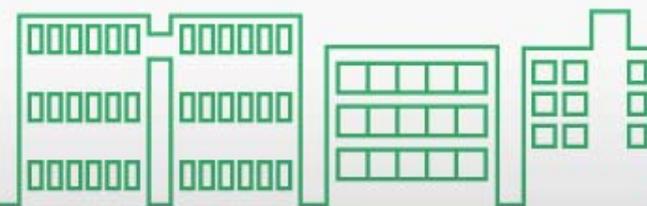


《市税収入と義務的経費の推移》

(億円)

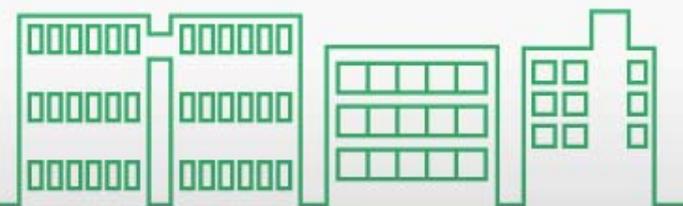


将来の人口推計



- ✓ 本市の将来の人口は、平成20年代後半をピークにその後は減少、平成52年には昭和55年当時と同程度まで減少すると見込まれている。

見えてきた課題



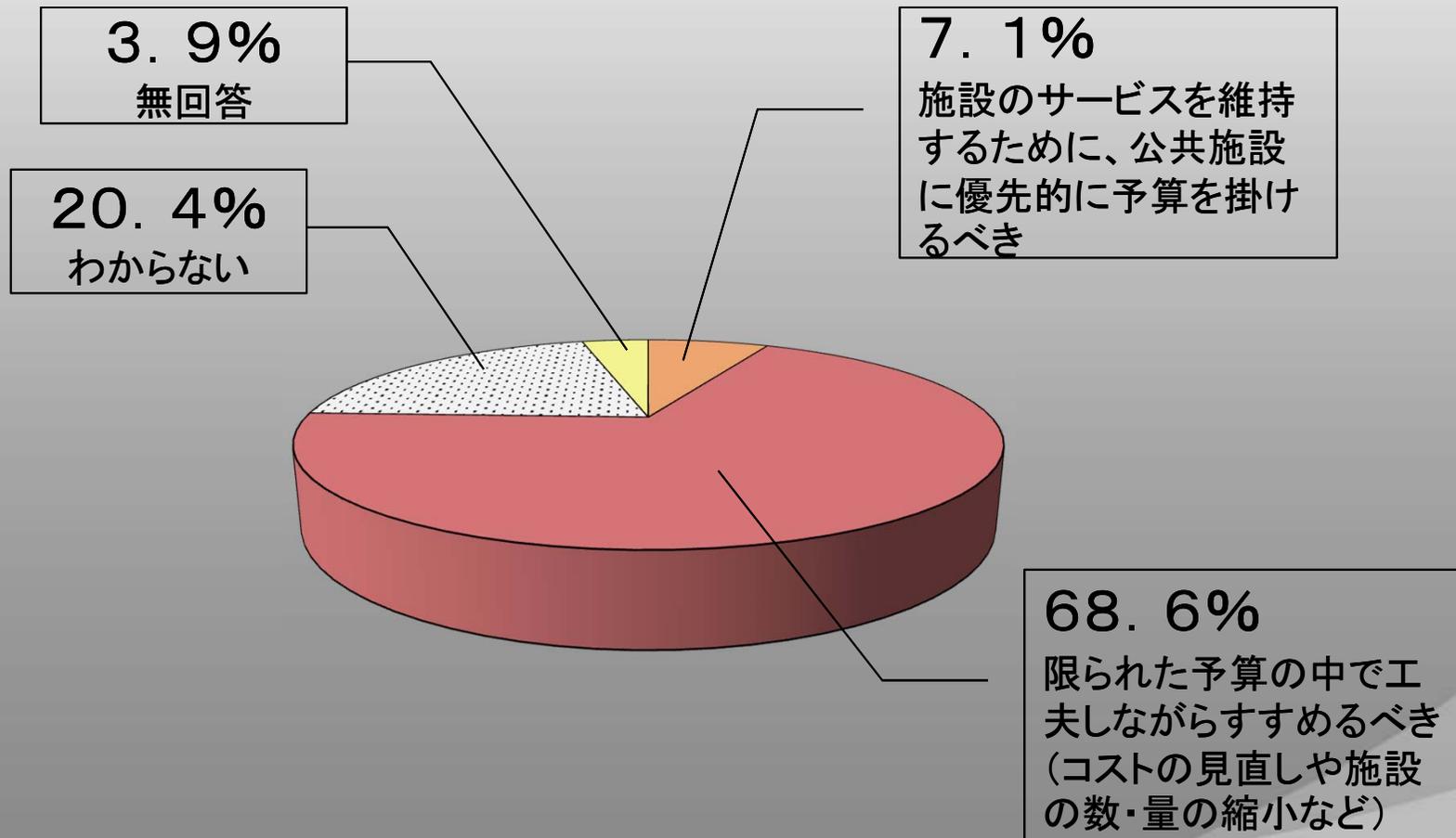
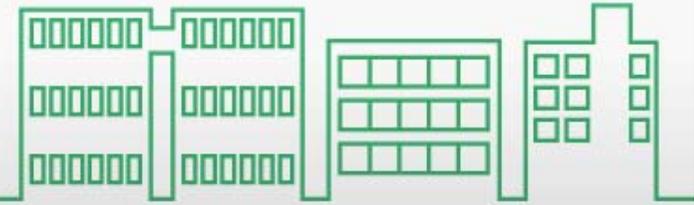
人口減少社会を見据えて

人口減少社会を見据え、施設の廃止・縮小を含めて保有資産量の適正化をどのように図るのか。

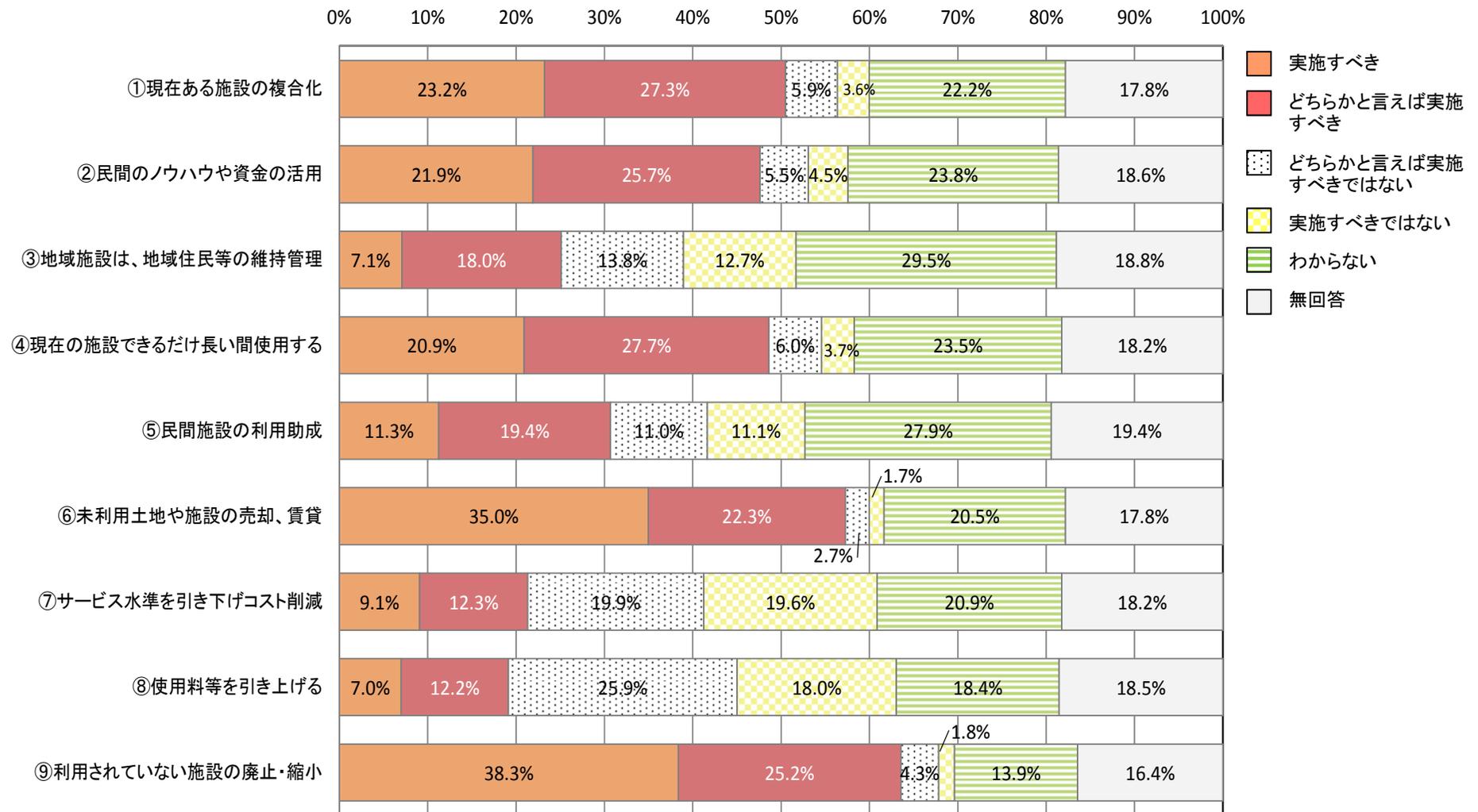
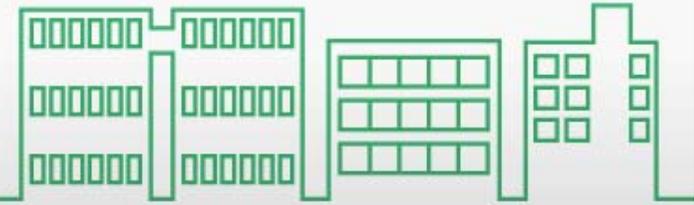
人口構造の変化を見据えて

人口構造の変化に伴う社会的ニーズの変化に対応した施設機能を、どう確保するのか。

今後の公共施設の整備 についての考え方は？



公共施設の整備の具体的な進め方 についてどう考えますか？



公共施設をどれくらい 利用していますか？

